



理事長
上田 由美子

「人が輝ける環境づくりが
良質なサービス提供に
つながると信じて」

閉谷未来図 ～理事長メッセージ～

今、私たちを取り巻く環境は、SNSによる容赦ない人への攻撃や社会的孤立などにより、言い知れぬ不安や閉塞感をもたらしています。だからこそ、地域における「かかわり」や「つながり」を、私たちはこれまで以上に求めているのではないのでしょうか。

このような社会の動きを受け、閉谷福祉会では2025年度の事業計画に「人が輝ける環境をつくる」ことを掲げました。法人内においては、職員の皆さんが働きやすい職場環境の整備に加え、人材不足への対応としてICTの活用による業務効率化を進めています。これらの取り組みは、基本方針の一つである「利用者の皆さまへの良質なサービス提供」につながるものと確信しています。

また、閉谷福祉会の魅力を再発見することをテーマに、今年6月に法人職員研修会を開催しました。職員で新しい法人のキャッチコピーを考えた結果、「ともに笑い ともに支え ともに生きる」が誕生しました。この言葉には、利用者の皆さまやご家族、そして地域の方々と共に歩んでいきたいという、私たちの思いが込められています。

1986年の法人設立当初より掲げてきた基本理念「地域と共に生きる」のもと、当法人はこれまで和気町日笠地区でのハロウィンイベントなど、地域とつながる活動を続けてまいりました。今年度からは東備地域生活支援センターふらっとにおいて「ふらっと食堂」を開店し、地域の皆さまが食を通して交流し、共に生きる場づくりを目指しています。

これからも新しいキャッチコピーとともに、専門性とネットワークを活かしながら、地域社会に貢献してまいります。



管理者

「障害が重い方でも“働き方改革”」

閉谷ワークセンター・せと 管理者 川淵 裕市

「はたらくってなんだろう」
先日、ワークせとに来ていた大学の実習生さんが、ぼろっといわれた言葉が印象に残っています。「みなさんは、何のためにはたらいているのでしょうか?」。その時は、就労継続支援B型の利用者さんのイメージで、まず給料をもらって「好きな物を買う」「映画やサッカー観戦に行く」「休憩時間に飲む缶コーヒーを買う」など、皆さんそれぞれですねとお話しました。

あとから、生活介護の利用者さんは? 事業所の職員は? 自分は? と考えたときに…
「お金を稼ぎ生活する」「自分の仕事が誰かの役に立っていると実感する」「仕事を通じて自分の能力を高める」「やりがいや達成感を得る」「いろいろな人と出会い、人間関係を築く」皆さんそれぞれで仕事の価値観が違い、仕事の内容、働き方も多様化してきていると思います。まさに働き方改革ですね。

もちろん、仕事のニーズ(作業依頼)と仕事の価値観(利用者の作業)がバランスよく続けていけるといいのですが、社会の変化にあわせて必要とされる作業ニーズも変わりますし、できる事(体調面精神面)も変わっていきます。

障害が重い方でも、一人一人働き方(作業)が選べ、その人のステージ(その時々状況)にあわせて、ワーク(仕事)とライフ(生活)をバランスよく変えて提供できるのが理想です。

ワークせとの利用者・職員が、「その人らしく働くには?」「一番大切にしたいものはなにか?」を一緒に考え、実現していくことを大切に、実現できたときの皆さんの笑顔でいっぱいの事業所にしたいと思います。



社会福祉法人 閉谷福祉会が発行する広報誌です

SHIZUTANI

発行：社会福祉法人 閉谷福祉会 〒709-0403 岡山県和気郡和気町日笠下1613-5
※ご連絡は瀬戸事務所(事務局)まで(TEL.086-206-6644)

VOL.
04

2025年
10月25日発行

社会福祉法人
閉谷福祉会
shizutanifukushikai



閉谷福祉会の
ニュースや記録を
ご覧いただけます!

大阪・関西万博への社会見学は 世界旅行のような大冒険でした!



トピックス01

閉谷ワークセンター・せとの社会見学で、9月19日に大阪・関西万博へ行ってきました! 今回のきっかけは、事業所で作っている備前焼「ももたま」。万博の岡山県ブースで配布いただけることになり、「それなら利用者の方みんなも一緒に行きたい!」と話が広がり、実現したものです。当日は渋滞で到着が1時間遅れてしまいましたが、会場に足を踏み入れた瞬間、皆さんの表情は一気に笑顔に。旅のしおりを片手に、目的地へと歩き出しました。万博のシンボル「大屋根リング」からの見晴らしは最高! あちこちを眺めながらのウォーキングを楽しみました。パビリオンでは「サウジアラビア館」を見学。華やかな光や音に包まれながら展示を堪能しました。お昼は食べ慣れた日本食(ラーメンが一番人気!)でお腹を満たし、デザートまでしっかり味わう方も多くいらっしゃいました。お楽しみのショッピングでは、自分用やお土産用にと商品を吟味。目当ての品を手にした時の皆さんの満足そうな表情が印象的でした。帰り際、とある利用者さんが外国の方と目を合わせて手を振り合い、「国際交流ができた! パスポートがなくてもできるんや!」と素敵な言葉を聞かせてくれました。滞在時間4時間半の短い時間ではありましたが、世界旅行のような大きな思い出を持って帰ることができました。



閉谷福祉会 基本理念 「地域と共に生きる」

閉谷福祉会の基本方針

わたしたちは、次の3つの事項を基本方針として利用者のニーズ、障害の状況、ライフステージに対応したサービスや生活、就労の機会を提供できるように努めます。

1 利用者の尊重 2 良質のサービス 3 地域との連携

社会福祉法人 閉谷福祉会

居住支援事業

- ▶障害者支援施設 しずたに
- ▶閉谷福祉会地域ホーム
- ▶閉谷ライフステージ・せとはなみずき/すみれ/オリーブ/ホログラ/ユウカリ
- ▶桜が丘東グループホーム
- ▶グループホームひなせなぎさホーム/さかえホーム

日中活動支援事業

- ▶閉谷ワークセンター・せと
- ▶閉谷ワークセンター・わけ
- ▶閉谷ワークセンター・あかいわ
- ▶閉谷ワークセンター・ひなせ
- ▶にじいろスクエア・せとうち
- ▶東備地域生活支援センターひよこ/生活介護事業所ひよこ
- ▶colorful space しずたに
- ▶障害者支援施設 しずたに (しずたにデイサロ)

地域生活支援事業

- ▶東備地域生活支援センターふらっと
- ▶ホームヘルプサービス もみじの里
- ▶瀬戸内市地域生活支援センタースマイル

トピックス02

多彩な研修を通じて、職員も法人も成長し続けます



職員の専門性向上や組織の理念・方針の共有、リスクマネジメント、職場の一体感づくりなどを目的に、関谷福祉会ではさまざまな研修を実施しています。

6/14 法人研修

6年ぶりに法人研修と懇親会を和気鶴岡谷温泉にて開催し、約100名が参加しました。法人の基本理念と基本方針を踏まえ、新たなキャッチコピーを考えるグループワークを実施。後日の投票の結果、「ともに笑い ともに支え ともに生きる」に決まりました。



8/23 安全運転講習



関谷福祉会では、日々の送迎で多くの公用車を使用しており、交通事故防止のための講習を実施しました。過去の事故事例をもとに、注意点や予防策についてグループで意見交換を行いました。より一層の責任感と緊張感を持ち、丁寧な運転を心がけます。

8/19 新入職員＆2年目職員フォローアップ研修

法人内の事業所を順に見学し、現場の業務内容や役割を具体的に学んでもらいました。新入職員や2年目職員にとって、業務理解を深め、多様な視点や考え方に触れることで、今後の目標やキャリアを描くきっかけとなれればと考えています。



トピックス03

イベント出店や交流事業を通じて、地域の力に！



「地域と共に生きる」の基本理念のもと、地域のイベントへの出店や、交流事業に積極的に取り組んでいます。そんな中から、2つのトピックスをご紹介します！

日笠盆踊り

8月14日に開催された「日笠盆踊り」に、「障害者支援施設 しずたに」がブース出店しました。「氷くじ」と「吹き矢」を行い、たくさんのおもちゃが暑さを忘れて楽しんでくれました。今回は利用者の方も呼び込みなどでお店を手伝ってくださり、地域の方と触れ合える時間となりました。



職場体験活動（チャレンジワーク14）

将来を担う中学生が、望ましい職業観や労働観を身に付けることなどを目的とした「職場体験活動(チャレンジワーク14)」。「関谷ワークセンター・わけ」では、この趣旨に賛同し、学習・体験の場を提供する地域貢献として、町内2つの中学校の受け入れを毎年行っています。パン作りだけでなく、しずたにのランドリー、広虫荘の清掃作業、明和工業の内職作業に参加していただき、利用者と一緒に作業を行いました。



フクシの仕事 Vol.4

「誕生日外出」で笑顔を見せてくれたときは本当にうれしいです。

——普段はどんな仕事をしていますか？

入所施設で、利用者さんの生活全般をサポートしています。食事や入浴など、日常生活の中でお手伝いが必要な場面を支援しながら、日勤や夜勤を交代で担当しています。

——仕事でうれしかったエピソードを教えてください。

利用者さんの誕生日には、「誕生日外出」といって、行きたい場所に出かけたり、食べたいものを食べたりしてお祝いします。言葉で希望を伝えられない方もいらっしゃるのですが、こちらが想像して決めることもあります。満足そうな笑顔を見せてくれたときは本当にうれしく、やりがいを感じます。

——逆につらいと感じることはありますか？

他人同士なので、100%理解するのは難しい部分があります。「なぜ？」と思う言動の理由がわからず、力になれない自分に悔しさや無力感を覚えます。そんなときは、一人で抱え込まず、先輩や同僚に相談することを大切にしています。

——法人内では求人にも関わっているそうですね。

就職フェアに参加し、求職者の方に法人や仕事内容について説明しています。個人的には、「人が好きで、人に興味がある方」「責任感を持って真摯に取り組める方」と一緒に働きたいと思っています。フェアで話をした学生さんが、今仲間として活躍している姿を見ると、とても感慨深いですね。

【PROFILE】
2013年入職。「関谷ワークセンター・せと」で生活介護や就労支援を経験し、2018年に「障害者支援施設 しずたに」へ異動。現在は男性棟のリーダーを務めている。



障害者支援施設 しずたに
神寶 一輝

一緒に働く
仲間を
探しています！



▶詳しくは採用サイトまで！

支援者のつづき

★この仕事に就いた頃は動きが速くなりがちでした。自分で心がけた一面もありますが、最近ではゆっくり歩いて、ゆっくり利用者さんのことを見て、ゆっくり考えられるようになりました。忙しさにかまけて見落としてしまっていた利用者さんのことも、些細な事ですが気づけるようになり、学ばせてもらったり深く探求できたりするようになった気がします。
[関谷ライフステージ・せと 内藤 一洋]

★目が覚めて今日もみんなに会いにいこう。朝礼で目と目を合わせ「〇〇 〇〇さん、おはようございます」と、フルネームで、お一人おひとり、丁寧に朝一番のご挨拶。「おはようございます」の言葉に笑顔添えて、心と心のキャッチボール、キミの胸にも飛んでゆけ。名前のトーンとリズムにはとっても素敵な意味があり、今日も名前を口ずさみ、メロディ天まで響かせる。言葉がでにくい日があれば一期一笑でうなずいた。ああ、なんて素敵な日。「あなたとの 巡り逢わせに ありがとう」。
[しずたにデイサポ 田坂 大地]

おかやまアーツフェスティバル2025「マチノブンカサイ」に協賛しています。

関谷福祉会は、10月11日に石山公園(岡山市北区)で開催された「マチノブンカサイ」に協賛いたしました。文化や芸術が持つ力を大切にしながら、地域の方々が集い、つながり合う機会づくりに貢献してまいります。

